

平成 28 年 11 月 18 日

一級自動車整備科 12 期 井上 峻太郎

クラシック・カー・ラリー Rally Nippon in Taiwan 2016 に参加して

今回、ラリーニッポン in 台湾に参加させていただき、普段できない貴重な経験をたくさんすることができました。

一つは、様々な人達と一緒にコミュニケーションをとりながら作業をする大切さを知るということです。

実際に、しっかりと時間をかけてミーティングを行い決めるとというのが一番良いと思いますが、現地に行くと会場の事情等でそのたび細かい部分の対応が変わります。他の隊と連携して動く場合などもあり、その場での状況判断や報告・連絡・相談などの重要性を学びました。

大変なこともありましたけど得た物はそれ以上にありました。

二つ目は、エントラントの方々と接する機会がそのまま応対の実践経験になった事です。

会話することが特別多いわけではありませんが、参加者の方達には凄い人が多いよと聞いていたので、言葉遣いや挨拶だけでなく、立つ姿勢などから常に気を張っており、これも一つの勉強になりました。

また、今回台湾で行われたラリーニッポンでしたが、台北スタートの台北ゴールで台湾一周となり、四日間続けて半日を走り続けるという、車両によっては過酷なものだったと思います。それでもほとんどの車両が最後まで完走されており、見た目だけでなく中身も良く整備されている事が分かりました。

そして、台湾各地のポイントで計測やスタンプなど行いましたが、地元の方々の温かいムードや集まってくれた人の多さなどから、この活動がとても歓迎されている、支持されているという事が伝わってきました。

実際に五十年から百年近く昔の車達が各地を走っている姿を見ると迫力があり、展示している車体を見た時の興味や探究心をはるかに勝る感動を得られました。

また、こういったクラシックカーの整備を専門にしている方もレースに随伴しており、色々大変だとは思いますが、そういった道もある事を気付かされ、考えが広がりました。

クラシックカーの魅力に触れて、この活動の素晴らしさを感じ、今後のラリーニッポンにも関わられたらと思います。これからも多くの人に実際に走っている姿を見ていただき、台湾でのギャラリーの方々のように感動してほしいと感じました。